

◆天竜川・浜名湖流域環境活性化プロジェクト

～美しい水環境の保全と活気あふれる天竜川・浜名湖流域圏の創造～

■背景と目的

背景

- 合併により市域は東西 52km、南北 73km と拡大しましたが、市域の多くは天竜川流域、あるいは浜名湖（都田川）流域に属し、それぞれの流域圏内における結びつきが強いという特徴があります。
- 本市は天竜川、浜名湖、佐鳴湖、遠州灘といった優れた自然環境を有し、市の水環境を象徴する存在となっています。
- 美しい水環境は都市の快適環境を高める重要な要素であるとともに、自然の生態系を回復する上で非常に重要な役割を担っていることを十分理解して、活気あふれる流域圏を育てるための取組を展開していくことが望まれます。



目的

- 市民との協働のもと、市のシンボルともいえる美しい水環境を保全し、活気あふれる天竜川・浜名湖流域圏を育てる都市づくりを進めます。

■主要施策・事業

■主要施策（1） 天竜川の環境保全と流域の活性化

天竜川は本市の貴重な水環境であり、合併によって拡大した市域の上流部と下流部をつなぐシンボリック存在です。こうした天竜川の価値を高めるため、清流環境の保全と有効活用を目的とした取組を積極的に展開します。



主要施策・事業名 [◆第4章との関係]	施策・事業の内容
①（仮称）浜松市 川や湖を守る条例の運用 [4-2-(2)水質汚濁対策の推進] [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	<ul style="list-style-type: none"> ○「（仮称）浜松市 川や湖を守る条例」の効果的な運用により、河川流域の自然環境の保全を推進します。 ○条例の実効性を高めるため、河川パトロールなどを推進します。
②てんはまエコミュージアム（*）推進事業（天竜川地域エコミュージアムの形成） [4-1-(1)森林資源の利活用促進] [4-3-(4)水と緑に親しむ空間の創造] [4-3-(5)景観の保全と創造] [4-3-(6)歴史的・文化的遺産の保全と活用] [4-4-(1)環境情報の整備と提供] [4-4-(2)環境教育・環境学習の推進]	<ul style="list-style-type: none"> ○天竜川地域に点在する自然や歴史的遺産、地域の産業や地域住民の生活など有形・無形の地域資源をネットワーク化し、相互の連携の中で効果的に事業の企画や情報の発信、人材の交流・活用が行える体制を整備します。 ○天竜川地域の自然に関する情報や、自然環境と共生して暮らす歴史のなかで人々が築き上げてきた文化遺産に関する情報、また、自然を活かした各種活動に関する情報を一括して整理し、紹介できるような機能を持つ中核拠点施設を整備します。 ◆東海自然歩道の魅力創造事業 ◆スーパービューポイント創出事業 ◆文化財保護・活用事業 ◆道案内等メッセージボード設置推進事業 などの推進
③川や湖をきれいにする運動の推進 [4-2-(2)水質汚濁対策の推進] [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	<ul style="list-style-type: none"> ○天竜川クリーン作戦、水フォーラムや、広報紙「水輪」の作成などといった「川や湖をきれいにする運動」の活動を推進します。
④天竜川流域圏環境保全事業 [4-4-(2)環境教育・環境学習の推進]	<ul style="list-style-type: none"> ○各地域の自然を活かした地域活性化事業で、森林体験講座や河川清掃活動、自然観察会などを実施します。 [静岡県西部地方拠点都市地域整備推進協議会]

●関係課・関連個別計画

関係課	: 企画課④、生涯学習課（文化財担当）②、環境企画課①②③④、 観光コンベンション課②、河川課③
関連個別計画	: 静岡県西部地方拠点都市地域整備基本計画 [企画課] 天竜川・浜名湖環境共生計画 [環境企画課] 浜松市観光ビジョン [観光コンベンション課]

■主要施策（２） 浜名湖の環境保全と流域の活性化

古くは「とおつあはうみ」と称された浜名湖は、かつての国名「遠江」の由来となっていたことから、当地域の人々の暮らし、産業、歴史・文化と深い関わりを持つ湖であり、天竜川と並んで本市のシンボルともいえる水環境です。この浜名湖の価値を高め、次世代に引き継いでいくため、保全と有効活用を目的とした取組を積極的に展開します。



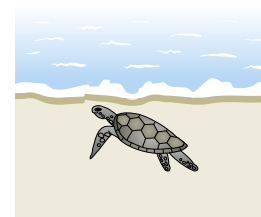
主要施策・事業名 [◆第4章との関係]	施策・事業の内容
①（仮称）浜松市 川や湖を守る条例の運用 [4-2-(2)水質汚濁対策の推進] [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	○浜名湖の水質を改善し、市民共有の財産として、良好な水辺環境を保全していくための「(仮称)浜松市 川や湖を守る条例」を効果的に運用するとともに、生活排水や産業排水、農地や市街地など汚濁源に係る調査、対策を進めます。 ○猪鼻湖、引佐細江湖、庄内湖など、浜名湖内湾でも特に閉鎖性が強い水域の水質改善を図るため、水質調査を実施し、有効な浄化対策を検討するとともに、効果的な対策の推進を図ります。
②てんはまエコミュージアム推進事業（浜名湖地域エコミュージアムの形成） [4-1-(5)省エネルギーの推進] [4-2-(1)大気汚染対策の推進] [4-3-(4)水と緑に親しむ空間の創造] [4-3-(5)景観の保全と創造] [4-3-(6)歴史的・文化的遺産の保全と活用] [4-4-(1)環境情報の整備と提供] [4-4-(2)環境教育・環境学習の推進]	○浜名湖地域に点在する自然や歴史的遺産、地域の産業や地域住民の生活など有形・無形の地域資源をネットワーク化し、相互の連携の中で効果的に事業の企画や情報の発信、人材の交流・活用が行える体制を整備します。 ○浜名湖地域の自然に関する情報や、自然環境と共生して暮らす歴史のなかで人々が築き上げてきた文化遺産に関する情報、また、自然を活かした各種活動に関する情報を一括して整理し、紹介できるような機能をもつ中核拠点施設を整備します。 ◆いにしへの道の魅力創出事業 ◆里山景観創出事業 ◆にぎわいポイント創出事業 ◆自転車利用環境整備事業 などの推進
③浜名湖の水をきれいにする会などの活動推進 [4-2-(2)水質汚濁対策の推進] [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	○浜名湖クリーン作戦、浜名湖湖上セミナーの開催や、広報紙「浜名湖の水」の作成、啓発イベントの開催などといった「浜名湖の水をきれいにする会」や「川や湖をきれいにする運動」の活動を推進します。
④浜名湖流域生活排水対策推進事業 [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	○水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点指定地域として、浜名湖流域の自治会や消費者団体などから生活排水対策指導員を養成し、地域に密着した生活排水対策の啓発や実践活動を推進します。

●関係課・関連個別計画

関係課	: 生涯学習課（文化財担当）②、環境企画課②③④、環境保全課①、 生活排水対策課④、観光コンベンション課②
関連個別計画	: 天竜川・浜名湖環境共生計画 [環境企画課] 浜松市一般廃棄物処理基本計画（生活排水編）[生活排水対策課] 浜松市観光ビジョン [観光コンベンション課]

■主要施策（3） 遠州灘海岸の保全

遠州灘海岸は、静岡県御前崎から愛知県伊良湖岬に至る東西117kmに及ぶわが国数少ない美しい砂浜海岸ですが、天竜川からの土砂供給の減少などが原因となって砂浜が急速に後退しています。この海岸侵食を食い止め、美しい海岸を保全することを目的とした取組を県などと協力して積極的に展開します。



主要施策・事業名 [◆第4章との関係]	施策・事業の内容
①遠州灘海岸侵食対策の推進 [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全]	○国・県などが実施する遠州灘海岸の侵食防止対策のための事業に参画・協力して、事業の推進を図ります。 ○海岸の侵食被害から海浜を保全するための方策について、関係機関、有識者や企業などの協力を得ながら、市としても、長期的な視点からの調査・研究活動を推進します。
②遠州灘海岸の保全の推進 [4-3-(2)河川・湖沼・海岸の環境保全] [4-3-(5)景観の保全と創造] [4-4-(3)市民などの自主的な活動の促進]	○遠州灘海浜の健全な利用と自然保全を図るために設立されている「遠州灘海浜の健全な利用と自然保全対策連絡会議」の活動を推進します。 ◆ウエルカメクリーン作戦などの各種清掃活動 ◆馬込川右岸旧埋立地の保全 ◆松くい虫の防除事業による海岸沿いの松林の整備 など

●関係課・関連個別計画

関係課	: 環境企画課②、河川課①
関連個別計画	: -

■環境指標

環境指標	現状値	目標値
	平成18年度 (2006年)	平成26年度 (2014年)
●湖沼や河川、海岸、森林などの自然環境に配慮した取組 《市政満足度（市民アンケート）》	15.2%	30%

◆てんはまエコミュージアム推進事業

豊かな自然環境の源である「天竜川」と「浜名湖」は、本市の貴重な財産です。

そこで、本市では、この代表的な自然環境資源を有効に活用しながら、その価値を認識して活発な経済・文化・社会活動を展開し、これによって持続可能なまちづくりを実現することを目的とした「天竜川・浜名湖環境共生計画」を平成18年度に策定しました。

そして、その中でも特に重点的に取り組む事業を「てんはまエコミュージアム推進事業」として位置づけ積極的な運用を図っています。

このプロジェクトは、天竜川と浜名湖を含む地域全体を屋根のない博物館に見立て、地域内にある環境資源を展示物と位置づけることで、多くの人々に向けて、環境資源と地域の価値を知らしめ、その魅力を楽しむ機会を創り出そうというものです。そしてこの推進には、地域の環境資源を、そこに暮らす市民や活動する事業者が、それぞれの共有資源としてその価値を認識し、その価値を高めていくように努めることが重要になります。具体的には**天竜川地域エコミュージアム**（P137）と**浜名湖地域エコミュージアム**（P138）の形成を計画しています。



【奥浜名湖の眺望】